

米軍基地等馬毛島移設問題対策協議会は、平成24年2月24日(金)に総会を開催し、来年度の事業計画等について協議を行いました。

開会のあいさつでは、長野会長（西之表市長）が、「本地域は、歴史上、大変大きな課題に直面し、大きな岐路に立っている。みなさま方と連携した取り組みを推進していく。」と今後も協議会で連携を図りながら取り組みを行っていくことを確認しました。



## ○平成 24 年度事業計画について

平成 24 年度の協議会の活動内容について積極的な意見交換がなされ、年度当初から国や防衛省の動きに迅速に対応できるよう事業の確認を行いました。

○平成 24 年度の事業計画を大きく分けると 5 事業となります。

### ◆今後も反対運動を推進します。

- ・ 住民組織の育成及び強化に力を注ぎ、連携を図りながら、運動を推進します。
- ・ 広報・学習活動を行い、住民のみなさんの意識の高揚に努めます。
- ・ 集会は、引き続き準備の上、しかるべき時期に実施します。
- ・ 署名は今後も引き続き実施し、住民主体での活動も支援します。

### ◆活発な要請（抗議）活動を行います。

1月に田中直紀防衛大臣に交代してから、要請活動がなされていないことから、「直接地元の意思を届けることが必要である。」（荒木（屋久島町長）副会長）、「今度は防衛大臣へ直接意志を伝えなければ。」（梶原（南種子町長）副会長）との意見により、速やかに田中防衛大臣に要請活動を行うことが確認されました。



その後も国の動きを見ながら、随時、要請（抗議）活動を行うことを確認しました。

◆情報の収集を行い、住民の皆さんに提供します。

積極的な情報収集を行い、住民の皆さんにしっかりと情報を提供することを確認しました。

◆広域的な連携を促進します。

馬毛島への米軍の訓練施設移転問題については、熊毛地区のみではなく、鹿児島県を含めた広域的な問題であり、現在、三島村及び南大隅町をはじめとして、多くの自治体の議会で反対の決議等がされています。

そういった地域と情報提供や連携を図りながら、広域的な運動へつなげていきます。

◆総会によって熊毛地区内での連携を図ります。

国の動きを見ながら、随時総会等を開催し、熊毛地区の意思疎通を行い、しっかりと連携を図ります。

### ○署名状況について

総会の中では、現在の署名の状況についても報告がありました。

**180,576 名分**（防衛省提出分を含む）

### 馬毛島への米軍訓練基地等の移転に反対する署名状況

（平成24年2月21日現在）

自治体名	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	熊毛地区計	熊毛地区以外	計
自筆分 （防衛省提出分を含む）	9,652	5,067	3,233	7,319	25,271	151,211	176,482
インターネット分	0	0	0	0	0	4,094	4,094
合計	9,652	5,067	3,233	7,319	25,271	155,305	180,576

1月24日に、鹿児島県護憲平和フォーラム（代表 荒川譲鹿児島大学名誉教授）をはじめとする九州各県の平和団体の方が来島し、全国から集めていただいた署名9万1912筆（平和フォーラム側発表）が、協議会会長である長野西之表市長へ託されました。

全国からいただいた多くの反対の意思に感謝します。

